

略語の正式名称と用語の定義

本検討会における略語の正式名称や用語の定義については、下表のとおりである。

略語・用語	正式名称・定義
BG	<p>balancing groupの略。計画値同時同量制度の下でインバランスの精算単位となる事業者群のこと。発電・小売・需要抑制それぞれで認められているものであって、一般的には、当該単位に基づき発電量や需要量の予測などが行われている。なお、発電者によるbalancing groupを発電balancing group（発電 BG）、小売電気事業者によるbalancing groupを（小売 BG）という。</p>
DR	<p>demand responseのこと。</p>
EDC	<p>economic load dispatching control（経済付加配分制御）のこと。比較的長時間の負荷変動（十数分から数時間程度の周期）に対応するため、中央給電指令所で、需要予測に合わせ先行的に発電出力を制御する。 （参照）第 19 回 OCCTO 需給調整市場検討小委員会（2020 年 9 月 29 日）資料 2-2</p>
GC	<p>generation commitment（発電販売計画や需要調達計画の提出期限のこと。現行制度においては、電力の実需給の 1 時間前に設定されている。ゲートクローズの略。</p>
GF	<p>governor-free（ガバナフリー）のこと。発電機の回転速度（周波数）を一定に保つよう、同期発電機の调速機（ガバナ）が系統周波数の変化に追従して、発電出力を増減することをいう。LFCでは追従できないような負荷変動（数秒から数分程度の周期）や需給ミスマッチへ対応するため、発電機の调速機により発電出力を調整する。 （参照）第 19 回 OCCTO 需給調整市場検討小委員会（2020 年 9 月 29 日）資料 2-2</p>
JEPX	<p>一般社団法人日本卸電力取引所</p>
LFC	<p>load frequency control（負荷周波数制御）のこと。系統周波数を一定に保つよう、中央給電指令所で周波数および連系線潮流の偏差から、偏差を解消する発電出力を計算し制御することをいう。需要予測が困難な負荷変動（数分から十数分程度の周期）や需給ミスマッチへ対応するため、中央給電指令所で変動量を計算し、これに追従するよう発電出力を制御する。 （参照）第 19 回 OCCTO 需給調整市場検討小委員会（2020 年 9 月 29 日）資料 2-2</p>
OCCTO	<p>電力広域的運営推進機関。Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators, Japan の略。</p>
SCED	<p>system constraint economic dispatch（系統制約を考慮した上で、起動費、最低出力費用、限界費用が最経済となるように経済負荷配分を決定すること。Security Constrained Economic Dispatchの略。</p>
SCUC	<p>system constraint unit commitment（系統制約を考慮した上で、起動費、最低出力費用、限界費用が最経済となるように起動停止計画を策定すること。Security Constrained Unit Commitmentの略。</p>
Three-Part Offer	<p>米国の PJM や NYISO、ERCOT 等において、導入されている入札手法のこと。売入札を行う者は、入札時に①起動費、②最低出力費用（無負荷費用を入札させる場合もある。）、③限界費用カーブ、の 3 つの情報を登録する。</p>

略語・用語	正式名称・定義
TSO	一般送配電事業者（TSO は Transmission System Operator の略。なお、電気事業法（昭和三十九年法律第七十号）上は一般送配電事業者の英訳は General Electricity Transmission and Distribution Utility であるが、検討会では一般的な略称である TSO を用いることとする。）
$\Delta$ kW- I	前日断面において TSO が予測する不足インバランス想定分（前日時点での TSO 予測需要と小売調達需要の差）のこと。
$\Delta$ kW- II	GC 後の最終的な需給変動対応のための調整電源のこと。現行制度における需給調整市場の一次調整力から三次調整力①がこれに該当する。
$\Delta$ kW- III	GC 前の変動性再エネ（FIT 特例①及び③）の変動対応に必要な調整電源のこと。現行制度における需給調整市場の三次調整力②がこれに該当する。
検討会	同時市場の在り方等に関する検討会
同時市場	作業部会の取りまとめにおいては、「同時市場」という単語は「売り入札の方法として Three-Part Offer（米国の PJM や NYISO、ERCOT 等において、導入されている入札手法のこと。売入札を行う者は、入札時に①起動費、②最低出力費用（無負荷費用を入札させる場合もある。）、③限界費用カーブ、の3つの情報を登録する。）を採り、kWh と $\Delta$ kW を同時に約定させる、すなわち、供給力、調整力に関わらず全ての電力を同時に約定させる仕組みの市場のこと。」という定義で使用されていたが、本検討会においては、作業部会の取りまとめの第3章「安定供給のための電源起動とメリットオーダー」において提案された実需給の1週間程度前から実需給までの一連の仕組み全体を指して「同時市場」と呼ぶこととする。
作業部会	あるべき卸電力市場、需給調整市場及び需給運用の実現に向けた実務検討作業部会
前日同時市場	現行制度におけるスポット市場と同じような時間帯に開場されており、売り入札の方法として Three-Part Offer を採り、kWh と $\Delta$ kW を同時に約定させる、すなわち、供給力、調整力に関わらず全ての電力を同時に約定させる仕組みの市場のこと。
勉強会	卸電力市場、需給調整市場及び需給運用の在り方勉強会

※表については、適宜見直しを行う。